

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー経営状況報告書

法人の概要

- 1 名 称 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー
- 2 目 的 鳥取県の有する優れた自然、歴史的・文化的資源を生かし、コンベンションの誘致・支援等を行うことにより、鳥取県におけるコンベンションの振興を図り、もって県内産業の振興、地域の活性化、国際的な相互理解の増進及び文化の向上に寄与することを目的とする。
- 3 公益認定年月日 平成25年3月21日
(財団法人 とっとりコンベンションビューロー設立許可年月日
平成7年7月7日)
- 4 設立登記年月日 平成25年4月1日
(財団法人 とっとりコンベンションビューロー設立登記年月日
平成7年7月7日)
- 5 基 本 財 産 出えん金 972,142,000円
鳥取県出えん金 500,000,000円
4市出えん金 250,000,000円
その他出えん金 222,142,000円
- 6 役 員 等 評 議 員 9人 理 事 6人 監 事 2人
評議員長 坂口平兵衛(米子商工会議所会頭)
評議員 鈴木俊一(鳥取県輝く鳥取創造本部観光交流局長)
" 若林満弘(米子市経済部長)
" 藪田千登世(国立大学法人鳥取大学理事・副学長)
" 森田進(株式会社鳥取銀行執行役員米子営業
部長)
" 吉岡佐和子(株式会社山陰合同銀行執行役員米子駐
在米子営業本部長)
" 細田耕治(鳥取県経済同友会代表幹事)
" 足立珠希(弁護士)
" 寺谷寛(株式会社新日本海新聞社本社主幹兼論説

委員)

理事長 石村 隆 男

常務理事 丸山 堅 一

理 事 田中 規 靖 (公益社団法人鳥取県観光連盟専務理事)

〃 岸田 寛 昭 (特定非営利活動法人未来理事長)

〃 小谷 文 夫 (鳥取県旅館ホテル生活衛生同業組合理
事長)

〃 山崎 裕美子 (皆生菊乃家若女将)

監 事 高橋 敬 一 (有限会社高橋会計事務所代表取締役社
長・公認会計士)

〃 塚田 武 志 (米子市会計管理者)

7 職 員 22人 (うち県退職職員 1人)

8 事 務 所 米子市末広町294番地

令和4年度事業実施状況

1 財団運営

- (1) 組織体制の充実強化のため、各種研修会の実施及び外部研修への参加を推進した。
 - ・ 実施研修（コンプライアンス研修、メンタルヘルス研修）
 - ・ 外部研修（MICEセミナー初級、舞台技術研修 ほか）
- (2) 社会的責任を果たすための活動を推進した。
 - ・ 中海アダプトプログラム参加、週1回の周辺清掃実施
 - ・ 鳥取県版環境管理システム第Ⅱ種に基づいた環境保全活動

2 コンベンションの誘致事業及び支援事業

(1) 誘致事業

- ・ 令和4年度は行動制限の緩和など徐々に回復の兆しも見られたが、主催者の慎重傾向も依然続いており、コンベンションの中止や延期、オンラインやハイブリッド方式の開催によって、当該年度開催件数は116件（前年55件）、参加人数33,089人（前年12,966人）と前年比では増となったが、コロナ禍前の水準に比べ4割程度にとどまった。
- ・ 県外主催者への訪問活動も徐々に再開するとともに、3年振りに現地開催となった「第32回国際MICEエキスポIME2023」、「中国・四国地区コンベンション誘致懇談会」に出展し、MICE取扱事業者及びコンベンション主催者等に対して鳥取県開催を働きかけた。

※出展予定であったJNTO（日本政府観光局）主催「JAPANインセンティブセミナー（台中・台北）」「韓国インセンティブマート」はオンライン開催となり、県内受け入れ状況を鑑み参加を見合わせた。

(2) 開催支援事業

- ・ 当該年度に開催されたコンベンションのうち56件に対して、コンベンション開催助成金の交付を行った。（交付実績 17,100千円）
- ・ 感染症予防対策支援助成金制度を継続し、当該年度に開催されたコンベンションのうち18件に対して、開催時の新型コロナウイルス感染症対策経費の一部を助成した。（交付実績 2,241千円）
- ・ コンベンションバック・観光パンフレット・文化観光施設優待割引券の提供、歓迎看板の掲出のほか、新型コロナウイルス感染症の影響による開催延期、会場変更等に伴う主催者支援を行った。
- ・ 「コロナ禍におけるコンベンション開催チェックリスト」を配布し、安心安全なコンベンション開催を働きかけた。

(3) 調査企画事業

- ・ コンベンション開催意向調査を行い、その結果を踏まえ、各主催者に対し誘致活動を行った。
- ・ コンベンション参加者アンケートを実施し報告書を作成した。関係諸機関に報告し、地域のもてなしの向上につなげることとした。コンベンション開催による経済的波及効

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

果の推計調査については、開催件数及び参加者数の減少により、統計上の偏りが生じるため、前年に引き続き中止とした。

- ・ 「コンベンション情報説明会・交流会 i n 中部」を倉吉市で開催し、主催者と関係事業者との交流並びにコンベンションによる地域振興の機運醸成を図った。

(4) 広報宣伝事業

- ・ ホームページを随時更新し、コンベンション主催者及び参加者等に常に新しい情報を発信した。
- ・ 機関紙の発行、広報記事の掲載、各種広報宣伝活動を展開した。
- ・ オンライン、ハイブリッド開催となったコンベンションで鳥取県の観光・物産情報を発信するため、主催者に短編PR動画の提供を行った。

3 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業（指定管理事業）

感染症予防対策を徹底し、各種ガイドラインに基づく安心・安全な会館運営を行うとともに、オンラインやハイブリッド開催といったコンベンション開催形態の変化や利用者ニーズに対応するため、安定した通信環境の提供や職員の対応力強化を図った。また、地域のにぎわい回復に繋げるため、自主事業の実施や新設した助成金制度等を活用し利用促進に取り組んだ。

(1) 管理運営の取組

① 施設の利用状況

年間利用者数 159,859人（前年104,683人）

年間利用料収入 93,926,200円（前年73,660,120円）

② 利用促進及び顧客サービスの向上

- ・ 展示会を開催する企業を中心に情報収集や利用促進活動を行った。また、大型催事主催者には開催終了後に意見や要望を伺うことで、再利用に繋がるよう努めた。
- ・ 利用者懇談会の開催及び利用者（主催者）へのアンケート調査を徹底し、サービスや設備の充実に反映させた。

③ 広報関連事業

イベントガイドの発行や、地元ケーブルテレビの文字放送による催事情報の発信を行うとともに、センター公式ホームページ、公式ツイッター及びインスタグラムを活用し、タイムリー且つ広範囲にわたる情報発信を行った。

④ 地域連携事業

「食のみやこ鳥取県西部フェスタ連絡協議会」、「Yonagoヒカリ☆マチプロジェクト実行委員会」等への参画を通じて、地域と連携を強化し、一体となった賑わい創出を図った。

⑤ 施設管理事業

- ・ 安心・安全のための施設運営

利用者の安全確保と危機管理体制の強化のための避難誘導訓練・救命救急講習を実施した。また、保守点検の徹底、故障又は故障の恐れがあるものに対して、早期修繕及び予防修繕を実施した。

- ・ 安全・快適な施設
感染対策としての消毒や換気の徹底をはじめ、清掃、常駐管理、安全管理等の委託業者と定期的な連絡を密に行い、情報と課題の共有を図り、良好な施設環境づくりに努めた。

⑥ SDGs の取組

- ・ 環境に配慮した施設運営グリーンコンベンションの理念をはじめとした基本方針を来館者に示すとともに、省エネルギー、ごみの減量化等の推進を主催者に広く呼び掛け、鳥取県版環境管理システム（TEAS II種）に基づく会館運営を実施した。

⑦ 自主企画事業

- ・ コンベンションセンターの施設・設備を活用し、地域の賑わい創出や文化振興に繋がる企画事業を実施した。

「ビッグシップコンサート」（6月、12月）

「ビッグシップ探検ツアー」（8月）

「ビッグシップ航海デー ハンドメイドフェスタ」（11月）

4 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業

(1) 地域のコンベンション振興に資する事業

① 利用団体支援制度事業

- ・ 多目的ホール・国際会議室を利用した大規模催事で、利用日数等の規定の条件を満たす利用団体に対し、助成金を交付した。（5件）
- ・ 新型コロナウイルス感染症拡大により大きな影響を受けている地域の経済・文化活動の振興を図るため、鳥取県内の企業・団体が主催し一定の条件を満たす「展示会」又は「文化芸術活動」に助成金を交付した。（7件）
- ・ 地域の企業や団体等が実施する事業について財団が共催者として関与し、施設利用料の助成や施設優先予約、広報協力によって地域の賑わい創出と活性化に寄与した。（2件）

(2) 地域の文化活性化に資する事業

① 演劇ワークショップ

- ・ 将来の文化活動者の育成につなげるため、鳥取県西部の高校演劇部を対象に舞台・照明・音響技術の講習を行った。（5月）

② ビッグシップ子どもワークショップ-廃材でアートしよう-（アート交流ひろば）

- ・ 「廃材活用」をテーマに、海の漂流ゴミを使った工作やSDGsについて楽しく学ぶことができるワークショップを開催した。（9月）

③ 光のナイトセーリング（ビッグシップウィンターイルミネーション）

- ・ 鳥取県電業協会と連携協力し、隣接する米子市文化ホールと一体となったイルミネーション、ライトアップによって地域の賑わいを創出した。（12月～1月）

正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	4,883,622	5,425,455	△ 541,833
基本財産受取利息	4,883,622	5,425,455	△ 541,833
受取会費	3,120,000	0	3,120,000
受取会費	3,120,000	0	3,120,000
事業収益	93,392,925	73,199,900	20,193,025
事業収益	93,392,925	73,199,900	20,193,025
受託事業収益	201,290,020	184,279,049	17,010,971
地方公共団体受託収益	201,290,020	184,279,049	17,010,971
受取補助金等	65,014,342	53,580,901	11,433,441
地方公共団体受取補助金	59,560,000	49,415,500	10,144,500
受取補助金等振替額	5,454,342	4,165,401	1,288,941
雑収益	10,286,265	17,476,980	△ 7,190,715
雑収益	10,286,265	17,476,980	△ 7,190,715
経常収益計	377,987,174	333,962,285	44,024,889
(2) 経常費用			
事業費	373,653,096	325,686,119	47,966,977
役員報酬	2,850,000	1,050,000	1,800,000
給料	75,109,420	70,899,200	4,210,220
職員手当	34,620,883	30,255,806	4,365,077
社会保険料	17,684,272	16,382,837	1,301,435
福利厚生費	243,708	238,525	5,183
退職共済金	5,452,000	5,148,840	303,160
諸謝金	408,940	100,000	308,940
旅費	2,855,189	335,625	2,519,564
消耗品費	11,164,006	8,999,008	2,164,998
燃料費	176,042	118,900	57,142
飲食費	470,889	15,698	455,191
印刷製本費	2,579,485	2,269,195	310,290
光熱水費	60,454,555	43,524,481	16,930,074
修繕費	9,518,911	10,142,489	△ 623,578
使用料及び賃借料	1,877,262	2,169,133	△ 291,871
支払負担金	926,939	807,833	119,106
通信運搬費	3,223,425	2,992,827	230,598
手数料	2,203,234	2,285,048	△ 81,814
保険料	499,440	391,550	107,890
広告料	911,828	1,179,846	△ 268,018
委託費	106,346,091	101,547,422	4,798,669
租税公課	10,944,600	8,056,300	2,888,300
消耗什器備品費	60,500	499,950	△ 439,450
交付金	22,245,505	13,803,148	8,442,357
減価償却費	825,972	2,472,458	△ 1,646,486
管理費	7,703,958	7,183,454	520,504
役員報酬	3,082,400	1,162,800	1,919,600
給料	1,474,320	2,948,400	△ 1,474,080
職員手当	871,058	932,006	△ 60,948
社会保険料	809,650	808,130	1,520
福利厚生費	11,575	11,455	120
退職共済金	120,000	115,200	4,800
旅費	47,610	6,460	41,150
消耗品費	264,136	198,327	65,809
燃料費	4,603	11,608	△ 7,005

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
	飲 食 費	40,570	13,750	26,820
	印 刷 製 本 費	118,034	40,317	77,717
	光 熱 水 費	8,487	8,252	235
	使 用 料 及 び 賃 借 料	202,044	146,244	55,800
	支 払 負 担 金	218,877	207,007	11,870
	通 信 運 搬 費	88,204	99,584	△ 11,380
	手 数 料	83,271	133,765	△ 50,494
	保 險 料	67,500	91,350	△ 23,850
	租 税 公 課	34,500	50,500	△ 16,000
	雑 費	26,690	67,870	△ 41,180
	減 価 償 却 費	130,429	130,429	0
	経常費用計	381,357,054	332,869,573	48,487,481
	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,369,880	1,092,712	△ 4,462,592
	評価損益等計	0	0	0
	当期経常増減額	△ 3,369,880	1,092,712	△ 4,462,592
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
	経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用				
	固定資産廃棄損	0	4	△ 4
	什器備品廃棄損	0	4	△ 4
	経常外費用計	0	4	△ 4
	当期経常外増減額	0	△ 4	4
	他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,369,880	1,092,708	△ 4,462,588
	他会計振替額	0	0	0
	当期一般正味財産増減額	△ 3,369,880	1,092,708	△ 4,462,588
	一般正味財産期首残高	17,202,667	16,109,959	1,092,708
	一般正味財産期末残高	13,832,787	17,202,667	△ 3,369,880
II 指定正味財産増減の部				
	受 取 補 助 金 等	16,294,000	0	16,294,000
	受取地方公共団体補助金	16,294,000	0	16,294,000
	基本財産運用益	2,696,622	3,238,416	△ 541,794
	基本財産受取利息	2,696,622	3,238,416	△ 541,794
	一般正味財産への振替額	△ 8,150,964	△ 7,403,817	△ 747,147
	一般財産への振替	△ 8,150,964	△ 7,403,817	△ 747,147
	当期指定正味財産増減額	10,839,658	△ 4,165,401	15,005,059
	指定正味財産期首残高	1,021,290,021	1,025,455,422	△ 4,165,401
	指定正味財産期末残高	1,032,129,679	1,021,290,021	10,839,658
	III 正味財産期末残高	1,045,962,466	1,038,492,688	7,469,778

正味財産増減計算書 内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振興事業	法人会計		
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,441,811	2,441,811	0	4,883,622
基本財産受取利息	2,441,811	2,441,811	0	4,883,622
受取会費	1,560,000	1,560,000	0	3,120,000
受取会費	1,560,000	1,560,000	0	3,120,000
事業収益	93,471,785	0	78,860	93,392,925
事業収益	93,471,785	0	78,860	93,392,925
受託事業収益	201,290,020	0	0	201,290,020
地方公共団体受託収益	201,290,020	0	0	201,290,020
受取補助金等	61,010,342	4,004,000	0	65,014,342
地方公共団体受取補助金	55,556,000	4,004,000	0	59,560,000
受取補助金等振替額	5,454,342	0	0	5,454,342
雑収益	10,337,756	0	51,491	10,286,265
雑収益	10,337,756	0	51,491	10,286,265
経常収益計	370,111,714	8,005,811	130,351	377,987,174
(2) 経常費用				
事業費	373,653,096	0	0	373,653,096
役員報酬	2,850,000	0	0	2,850,000
給料	75,109,420	0	0	75,109,420
職員手当	34,620,883	0	0	34,620,883
社会保険料	17,684,272	0	0	17,684,272
福利厚生費	243,708	0	0	243,708
退職共済金	5,452,000	0	0	5,452,000
諸謝金	408,940	0	0	408,940
旅費	2,855,189	0	0	2,855,189
消耗品費	11,164,006	0	0	11,164,006
燃料費	176,042	0	0	176,042
飲食費	470,889	0	0	470,889
印刷製本費	2,579,485	0	0	2,579,485
光熱水費	60,454,555	0	0	60,454,555
修繕費	9,518,911	0	0	9,518,911
使用料及び賃借料	1,877,262	0	0	1,877,262
支払負担金	926,939	0	0	926,939
通信運搬費	3,223,425	0	0	3,223,425
手数料	2,203,234	0	0	2,203,234
保険料	499,440	0	0	499,440
広告料	911,828	0	0	911,828
委託費	106,346,091	0	0	106,346,091
租税公課	10,944,600	0	0	10,944,600
消耗什器備品費	60,500	0	0	60,500
交付金	22,245,505	0	0	22,245,505
減価償却費	825,972	0	0	825,972
管理費	0	7,834,309	130,351	7,703,958
役員報酬	0	3,082,400	0	3,082,400
給料	0	1,474,320	0	1,474,320
職員手当	0	871,058	0	871,058
社会保険料	0	809,650	0	809,650
福利厚生費	0	11,575	0	11,575
退職共済金	0	120,000	0	120,000
旅費	0	47,610	0	47,610
消耗品費	0	264,136	0	264,136
燃料費	0	4,603	0	4,603

科 目	公益目的事業会計		内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振興事業	法人会計		
飲 食 費	0	40,570	0	40,570
印 刷 製 本 費	0	118,034	0	118,034
光 熱 水 費	0	30,862	22,375	8,487
使用料及び賃借料	0	280,904	78,860	202,044
支 払 負 担 金	0	218,877	0	218,877
通 信 運 搬 費	0	117,320	29,116	88,204
手 数 料	0	83,271	0	83,271
保 険 料	0	67,500	0	67,500
租 税 公 課	0	34,500	0	34,500
雑 費	0	26,690	0	26,690
減 価 償 却 費	0	130,429	0	130,429
経常費用計	373,653,096	7,834,309	130,351	381,357,054
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
他会計振替額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 3,541,382	171,502	0	△ 3,369,880
一般正味財産期首残高	12,679,177	4,523,490	0	17,202,667
一般正味財産期末残高	9,137,795	4,694,992	0	13,832,787
II 指定正味財産増減の部				
受 取 補 助 金 等	16,294,000	0	0	16,294,000
受取地方公共団体補助金	16,294,000	0	0	16,294,000
基 本 財 産 運 用 益	1,348,311	1,348,311	0	2,696,622
基 本 財 産 受 取 利 息	1,348,311	1,348,311	0	2,696,622
一般正味財産への振替額	△ 6,802,653	△ 1,348,311	0	△ 8,150,964
一 般 財 産 へ 振 替	△ 6,802,653	△ 1,348,311	0	△ 8,150,964
当期指定正味財産増減額	10,839,658	0	0	10,839,658
指定正味財産期首残高	535,219,021	486,071,000	0	1,021,290,021
指定正味財産期末残高	546,058,679	486,071,000	0	1,032,129,679
III 正味財産期末残高	555,196,474	490,765,992	0	1,045,962,466

貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	64,834,875	74,303,666	△ 9,468,791
売掛金	49,320	0	49,320
未収金	8,595,136	6,982,145	1,612,991
流動資産合計	73,479,331	81,285,811	△ 7,806,480
2. 固定資産			
(1)基本財産			
基本財産預金	33,944	2,243,672	△ 2,209,728
投資有価証券	972,108,056	969,898,328	2,209,728
基本財産合計	972,142,000	972,142,000	0
(2)特定資産			
地域振興事業基金預金	58,835,028	47,334,398	11,500,630
什器備品	1,152,651	1,554,423	△ 401,772
ソフトウェア	0	259,200	△ 259,200
特定資産合計	59,987,679	49,148,021	10,839,658
(3)その他固定資産			
車両運搬具	129,650	260,079	△ 130,429
什器備品	5	5	0
ソフトウェア	1,031,250	646,250	385,000
電話加入権	224,952	224,952	0
リサイクル預託金	31,680	31,680	0
その他固定資産合計	1,417,537	1,162,966	254,571
固定資産合計	1,033,547,216	1,022,452,987	11,094,229
資産合計	1,107,026,547	1,103,738,798	3,287,749
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	23,329,890	18,303,579	5,026,311
前受金	10,616,930	5,886,280	4,730,650
預り金	27,117,261	41,056,251	△ 13,938,990
流動負債合計	61,064,081	65,246,110	△ 4,182,029
負債合計	61,064,081	65,246,110	△ 4,182,029
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	59,987,679	49,148,021	10,839,658
指定正味財産合計	1,032,129,679	1,021,290,021	10,839,658
(うち基本財産への充当額)	(972,142,000)	(972,142,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(59,987,679)	(49,148,021)	(10,839,658)
2. 一般正味財産	13,832,787	17,202,667	△ 3,369,880
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	1,045,962,466	1,038,492,688	7,469,778
負債及び正味財産合計	1,107,026,547	1,103,738,798	3,287,749

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
投資有価証券(国債)は、償却原価法によっている。(満期保有目的)
- (2) 固定資産の減価償却の方法
法人税法に基づき、有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法によっている。
- (3) リース取引の処理方法
賃貸借処理による。
- (4) 消費税等の会計処理
税込方式による。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産預金	2,243,672	0	2,209,728	33,944
投資有価証券	969,898,328	2,209,728	0	972,108,056
小 計	972,142,000	2,209,728	2,209,728	972,142,000
特定資産				
地域振興事業基金預金	47,334,398	16,294,000	4,793,370	58,835,028
什器備品	1,554,423	0	401,772	1,152,651
ソフトウェア	259,200	0	259,200	0
小 計	49,148,021	16,294,000	5,454,342	59,987,679
合 計	1,021,290,021	18,503,728	7,664,070	1,032,129,679

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
普通預金	33,944	(33,944)	0	0
投資有価証券	972,108,056	(972,108,056)	0	0
(国債)	472,108,056	(472,108,056)	0	0
(地方債)	300,000,000	(300,000,000)	0	0
(電力債)	200,000,000	(200,000,000)	0	0
小 計	972,142,000	(972,142,000)	0	0
特定資産				
地域振興事業基金預金	58,835,028	(58,835,028)	0	0
什器備品	1,152,651	(1,152,651)	0	0
小 計	59,987,679	(59,987,679)	0	0
合 計	1,032,129,679	(1,032,129,679)	0	0

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車輜運搬具	3,267,586	3,137,936	129,650
什器備品	16,976,320	15,823,664	1,152,656
ソフトウェア	1,375,000	343,750	1,031,250
合計	21,618,906	19,305,350	2,313,556

5 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	帳簿価格	時価	評価損益
国債	472,108,056	467,703,682	△ 4,404,374
第366回利付国債(10年)野村証券	123,172,587	122,517,366	△ 655,221
第368回利付国債(10年)野村証券	164,693,812	165,916,403	1,222,591
第367回利付国債(10年)鳥取銀行	114,764,232	114,229,730	△ 534,502
第367回利付国債(10年)米子信用金庫	10,005,600	9,959,000	△ 46,600
第167回利付国債(20年)野村証券	59,471,825	55,081,183	△ 4,390,642
地方債			
千葉県第26回公募公債(20年)野村証券	300,000,000	275,538,900	△ 24,461,100
電力債			
東北電力(株)第508回一般担保付社債(10年)野村証券	200,000,000	196,583,200	△ 3,416,800
合計	972,108,056	939,825,782	△ 32,282,274

6 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
交付金	鳥取県	0	21,230,000	21,230,000	0	
運営費負担金(補助金)	鳥取市	0	6,608,000	6,608,000	0	
	倉吉市	0	2,731,000	2,731,000	0	
	米子市	0	10,783,000	10,783,000	0	
	境港市	0	1,108,000	1,108,000	0	
コンベンション開催助成補助金	鳥取県	0	8,550,000	8,550,000	0	
	鳥取市	0	1,249,359	1,249,359	0	
	倉吉市	0	213,314	213,314	0	
	米子市	0	5,987,327	5,987,327	0	
	若桜町	0	300,000	300,000	0	
	三朝町	0	25,000	25,000	0	
	湯梨浜町	0	175,000	175,000	0	
	大山町	0	475,000	475,000	0	
	日南町	0	125,000	125,000	0	
米子コンベンションセンター基金造成事業補助金	鳥取県	49,148,021	16,294,000	5,454,342	59,987,679	指定正味財産
合計		49,148,021	75,854,000	65,014,342	59,987,679	

7 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産(国債)受取利息の振替額	2,696,622
鳥取県基金積立補助金の振替額	5,454,342
(補助金目的達成による指定解除額)	(4,793,370)
(特定資産減価償却費計上による振替額)	(660,972)
合 計	8,150,964

財産目録

令和5年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金	55,383
		普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	運転資金	15,755,819
	売掛金	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	所得税・保険料等預り金	2,020,181
		普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	運転資金	47,003,492
未収金	施設利用料 1件	公益目的事業の売掛金である 施設利用料	49,320	
	施設利用者 38件 湯梨浜町等 5件	公益目的事業の未収金である 施設利用料 開催助成費補助金等	8,595,136	
	入居団体者等 12件	施設テナント等		
流動資産合計				73,479,331
(固定資産)				
基本財産	基本財産預金	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	(共用財産) 基本財産のうち50%が公益目的保有 財産であり、運用益を公益目的事業 の財源として使用	33,944
		投資有価証券	50%が法人管理に充てる財産であり、 運用益を法人管理業務の財源として 使用	123,172,587 164,693,812 114,764,232 10,005,600 59,471,825 300,000,000 200,000,000
特定資産	地域振興事業基金預金	普通預金 (株)山陰合同銀行米子支店	公益目的保有財産であり、公益目的 事業の財源として使用する資産であ る	58,835,028
	什器備品	施設紹介DVD、テント 3張 LAN設備、大型プリンター	公益目的事業に使用	1,152,651
その他固定資産	車両運搬具	普通乗用車 2台、商用車 1台	管理業務に普通車 1台、 公益目的事業に普通車 1台、 商用車 1台	129,650
	什器備品	誘致データベース機器 1式、予約 管理システム機器 1式、その他事 務機器等 2台 事務機器 1台	公益目的事業に使用	5 (4)
			管理業務に使用	(1)
	ソフトウェア	誘致データベースシステム	公益目的事業に使用	1,031,250
	電話加入権	3回線	(共用財産) 公益目的事業に50%を使用 管理業務に50%を使用	224,952
リサイクル預託金	車両リサイクル預託金 3台分	管理業務に使用 (1台) 公益目的事業に使用 (2台)	31,680 (10,040) (21,640)	
固定資産合計				1,033,547,216
資産合計				1,107,026,547

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動負債)	未払金			23,329,890
		米子年金事務所等 69件 3月分社会保険料等 5件	公益目的事業の未払金である 管理業務の未払金である	(23,249,876) (80,014)
	前受金			10,616,930
		施設利用者 282件	公益目的事業の翌事業年度以降の施設利用 料収入である	(10,616,930)
	預り金			27,117,261
	社会保険料 所得・市町村税 労働保険 地方公共団体返納金	役職員 役職員他 役職員 鳥取県、米子市、鳥取市、倉吉市		1,079,397 491,375 449,409 24,641,980
	チケット売上	チケット販売依頼主	2022年度補助金及び指定管理料 の返納金	24,641,980
		預かりチケットの売上金	455,100	
流動負債合計				61,064,081
負債合計				61,064,081
正味財産				1,045,962,466

附属明細書

- 1 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記の記載事項に同じ。

- 2 引当金の明細
該当なし。

令和5年度事業計画

1 財団運営

財団の設置目的を確実に実施できるよう、組織体制の強化を図るとともに、以下のような取組により円滑な財団運営を推進する。

- (1) 人材育成・組織体制の強化
- (2) 財源の確保
- (3) 職場環境の適正化
- (4) 社会的責任を果たすための活動及びSDGsの推進

2 コンベンション誘致事業及び支援事業

新型コロナウイルス感染症による社会環境の変化や、収束に向かうウィズコロナの流れのなかで、柔軟な開催支援対応を行うとともに、積極的且つ効率的な誘致活動によって、コンベンション開催件数及び参加者数の拡大を図る。またインターネットを活用したハイブリッド方式の開催形態の浸透により減少した現地参加者数の回復のため、関係事業者と連携し主催者への啓発を強化するとともに、比較的オンラインの影響の少ないスポーツ大会や企業コンベンション、合宿等の短期商談案件を受入施設等と連携し強化推進していく。

(1) 誘致推進事業

- ① 誘致推進：学術会議・一般大会、スポーツ大会、企業コンベンション、MICE（インセンティブツアー）、合宿の県内誘致推進
- ② 県人会・同窓会等を通じた情報収集及び人脈づくり
- ③ コンベンション開催意向調査の実施
- ④ 各種協議会・商談会等への参加

(2) 開催支援事業

鳥取県開催コンベンションの円滑な運営支援を行うため、主催者へ財政的・物的等支援を行い、また、参加者に対しおもてなしを通して鳥取県の魅力をPRする。

- ① 財政的支援：開催助成金交付
- ② 物的支援：歓迎看板、コンベンションバック、地元特産品、観光パンフレット等提供
- ③ その他の支援
 - (ア) 会場手配、業務応援、コンベンション会場に観光案内・県内特産物の販売所の設置
 - (イ) 大会ホームページに開催地域の観光・イベント等情報サイトのバナー添付を推進、参加者への事前情報提供によるアフターコンベンションの促進
 - (ウ) コンベンション事務局運営支援

(3) 調査企画事業

- ① コンベンション参加者アンケートの実施
- ② 経済的波及効果の推計調査
- ③ コンベンション交流会の開催
- ④ アジア・ウォーキング・フェスタ in 鳥取の開催（共催事業）

(4) 広報宣伝事業

- ① ホームページ等によるコンベンションの情報発信

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

- ② 機関紙の発行
 - ③ 新聞等への広報宣伝記事掲載
 - ④ 文化・観光施設割引券WEB版の作成
 - ⑤ 大会歓迎ステッカー・タクシーステッカーの作成
- ### 3 米子コンベンションセンターの管理運営に関する事業
- (1) 管理運営の基本姿勢
 - ① 交流人口増大による地域のにぎわい創出の実現
 - ② 感動を共有する心豊かな文化・芸術の拠点づくり
 - ③ 公平な利用機会の確保と安心・安全・満足の追求
 - ④ 効率的で環境に配慮した会館運営と積極的な利用促進
 - ⑤ 公益法人としてのミッションと行政との連携
 - (2) 管理運営の方針・内容
 - ① 利用者サービス
 - ・ インターネットによる利用申込み受付
インターネットによる利用申込みや利用料のオンライン決済導入について周知を図り、利用者の利便性向上及び事務の効率化を図る。
 - ・ ワンストップサービスの充実
利用者の利便性向上を目的にワンストップサービス（看板作成サービス、ピアノ調律手配、インターネット回線専有接続サービス等）の充実を図る。
 - ・ 利便施設の充実
ビジネスコーナーの設置他、各種利便施設の充実を図る。
 - ・ 利用者ニーズの把握
顧客満足度、利用者の声を利用後の聞き取りや利用者懇談会等で収集し、サービスの向上に活かす。
 - ② 利用促進
利用実績のある主催者への対応強化と新規利用へとつながる提案営業を通じて、積極的な利用促進を図る。
 - ・ 利用者の潜在的ニーズを探り、効果的な利用提案ができる企画営業力の強化
 - ・ 誘致部門との連携を進め、地域へ有益な波及効果をもたらす全国大会などの大型コンベンションの獲得
 - ・ 利用者へのフォロー強化による継続利用促進
 - ・ 蓄積されたデータを活用したイベントの特性に合わせた利用提案
 - ③ 広報関連
当センターで開催されるイベントや情報を様々な媒体を使い広報する。
 - ・ ホームページでのGoogleストリートビューと連動した施設紹介やセンターPR動画を活用した効果的な情報発信
 - ・ イベントガイド情報紙の発行（毎月発行）
 - ・ 地元ケーブルテレビ文字放送でのイベント情報発信（毎日）

- ・ 公式SNS (X (旧 Twitter)、Instagram) による情報発信の更なる強化
 - ④ 地域連携
 - 地域との連携を通じ、催事サポートをすることで地域の賑わい創出に努める。
 - ・ 地元主体のイベント実行委員会への参画
 - ・ 地域の自主企画事業への参画と周辺施設との連携推進
 - ・ イベントへのボランティアスタッフ派遣
 - ⑤ 施設管理
 - 施設・設備を常に良好な状態に維持することに努めるとともに、省エネルギーの取組を継続する。
 - ・ 予防修繕の取組継続による、施設・設備の長寿命化
 - ・ 省エネルギー型照明器具の導入、不要箇所の照明消灯、温度管理の徹底による重油使用量の削減等の取組の継続
 - ・ 避難誘導訓練の実施 (年2回)
 - ・ 感染症対策を含む各種災害対応マニュアル等による職員教育の強化、災害時対応力の向上
 - ⑥ SDGs の取組
 - 「とっとりSDGsパートナー」制度に登録し、これまで提唱してきた環境に配慮したグリーンコンベンションの理念をSDGsへと継承し、更なる普及啓発を図る。
 - ・ 公式ホームページ特設サイトや館内掲示等による主催者・利用者への普及啓発
 - ・ 鳥取県版環境管理システム (TEAS II種) に基づく環境負荷低減を目指した施設運営
 - ⑦ 自主企画事業
 - ・ ビッグシップコンサート
 - 地域のアーティストによる多目的ホールホワイエでのサロンコンサート。
 - 実施時期：8月 スマイルキッズコンサート (親子対象)
 - 12月 ヒカリノ音楽会 (一般対象) クリスマスイルミネーション併催
 - ・ ビッグシップ探検ツアー
 - センターをより身近に感じていただくために施設を地域住民に広く公開した施設見学会を実施し、ファンの拡大を図る。
 - 実施時期：8月
 - ・ ビッグシップ航海デー
 - 地域で創作活動するクリエイターや団体の交流の場として多目的ホールを開放し、マーケット開催による地域一体となった賑わい創出を図る。
 - 実施時期：11月
- 4 米子コンベンションセンター地域振興事業基金による事業
- (1) 地域のコンベンション振興に資する事業
 - ① 利用団体支援事業
 - (ア) 助成金交付

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

当センターを利用する展示会及び県民を対象とした催事のうち、規定の条件を満たす利用団体に対し施設利用料の一部を助成するなどの開催支援を行い、地域経済の振興に寄与するとともに、多目的ホール及び国際会議室に重点を置いた利用促進につなげる。

(イ) 企画共催支援

地域の企業・団体等が実施する事業について当財団が共催者として関与し、相互協力と連携強化することによって地域の賑わい創出及び活性化に寄与する。

(2) 文化振興及び地域の活性化を目的としたにぎわい創出事業

① 演劇ワークショップ

県西部の高校演劇部を対象に舞台・照明・音響技術の基本から実践までを職員が説明し、将来の文化活動の担い手育成を図る。

実施時期：5月

② アート交流ひろば

地域で創作活動を行う展示系文化団体等に作品発表の場を提供し、地域に広く紹介するとともに創作者と来場者の交流の場を作り、地域住民がアートに触れる機会を創出する。

実施時期：8月、12月

③ ビッグシップイルミネーション

鳥取県電業協会等との連携協力によりクリスマスにイルミネーションを設置し、隣接する米子市文化ホールや米子彫刻ロードと一体となった地域の賑わいを創出する。

実施時期：12月～1月

④ 開館25周年記念事業「大鉄道博 i n 米子」

開館25周年を迎える本年、JR米子駅がリニューアルオープンすることから「鉄道」をテーマとした博覧会を実施し、地域振興につなげる。

実施時期：8月（11日間）

収支予算書

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	3,303,000	4,846,000	△ 1,543,000
基本財産受取利息	3,303,000	4,846,000	△ 1,543,000
受取会費	3,000,000	3,080,000	△ 80,000
受取会費	3,000,000	3,080,000	△ 80,000
事業収益	99,930,000	100,000,000	△ 70,000
事業収益	99,930,000	100,000,000	△ 70,000
受託事業収益	214,569,000	214,569,000	0
地方公共団体受託収益	214,569,000	214,569,000	0
受取補助金等	118,532,978	72,056,972	46,476,006
地方公共団体受取補助金	84,172,000	63,114,000	21,058,000
受取補助金等振替額	34,360,978	8,942,972	25,418,006
雑収益	11,368,000	11,423,000	△ 55,000
雑収益	11,368,000	11,423,000	△ 55,000
経常収益計	450,702,978	405,974,972	44,728,006
(2) 経常費用			
事業費	444,719,978	404,201,972	40,518,006
役員報酬	2,850,000	2,850,000	0
給料	76,446,000	81,086,000	△ 4,640,000
職員手当	37,280,000	37,414,000	△ 134,000
社会保険料	19,040,000	19,647,000	△ 607,000
福利厚生費	315,000	301,000	14,000
退職共済金	5,472,000	5,452,000	20,000
諸謝金	1,120,000	450,000	670,000
旅費	4,208,000	3,503,000	705,000
消耗品費	13,676,000	11,998,000	1,678,000
燃料費	419,000	322,000	97,000
飲食費	1,195,000	563,000	632,000
印刷製本費	4,358,000	4,019,000	339,000
光熱水費	88,986,000	63,453,000	25,533,000
修繕費	9,397,000	9,709,000	△ 312,000
使用料及び賃借料	2,490,000	2,439,000	51,000
支払負担金	6,609,000	1,095,000	5,514,000
通信運搬費	4,426,000	3,603,000	823,000
手数料	2,589,000	2,322,000	267,000
保険料	496,000	421,000	75,000
広告料	1,334,000	1,198,000	136,000
委託費	109,980,000	109,644,000	336,000
租税公課	12,013,000	11,976,000	37,000
交付金	39,350,000	29,911,000	9,439,000
減価償却費	670,978	825,972	△ 154,994
管理費	8,687,647	8,050,429	637,218
役員報酬	3,212,000	3,212,000	0
給料	1,527,000	1,438,000	89,000
職員手当	894,000	708,000	186,000
社会保険料	864,000	813,000	51,000
福利厚生費	14,000	13,000	1,000
退職共済金	120,000	116,000	4,000
旅費	87,000	87,000	0
消耗品費	341,000	226,000	115,000

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

科 目		当 年 度	前 年 度	増 減
	燃 料 費	14,000	12,000	2,000
	飲 食 費	69,000	69,000	0
	印 刷 製 本 費	130,000	130,000	0
	光 熱 水 費	8,000	8,000	0
	修 繕 費	30,000	30,000	0
	使用料及び賃借料	417,000	344,000	73,000
	支 払 負 担 金	285,000	285,000	0
	通 信 運 搬 費	126,000	126,000	0
	手 数 料	205,000	109,000	96,000
	保 險 料	94,000	73,000	21,000
	租 税 公 課	51,000	51,000	0
	雑 費	70,000	70,000	0
	減 価 償 却 費	129,647	130,429	△ 782
経常費用計		453,407,625	412,252,401	41,155,224
評価損益等調整前当期経常増減額		△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
評価損益等計		0	0	0
当期経常増減額		△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
	経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用				
	経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額		0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額		△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
他会計振替額		0	0	0
当期一般正味財産増減額		△ 2,704,647	△ 6,277,429	3,572,782
一般正味財産期首残高		12,796,238	17,202,667	△ 4,406,429
一般正味財産期末残高		10,091,591	10,925,238	△ 833,647
Ⅱ 指定正味財産増減の部				
	基本財産運用益	1,116,000	2,696,622	△ 1,580,622
	基本財産受取利息	1,116,000	2,696,622	△ 1,580,622
	一般正味財産への振替額	33,244,978	△ 11,639,594	44,884,572
	一般財産へ振替	33,244,978	△ 11,639,594	44,884,572
当期指定正味財産増減額		34,360,978	△ 8,942,972	43,303,950
指定正味財産期首残高		1,032,134,049	1,021,290,021	10,844,028
指定正味財産期末残高		1,066,495,027	1,012,347,049	54,147,978
Ⅲ 正味財産期末残高		1,076,586,618	1,023,272,287	53,314,331

収支予算書内訳表

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振興事業				
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	1,652,000	1,651,000	0	0	3,303,000
基本財産受取利息	1,652,000	1,651,000	0	0	3,303,000
受取会費	1,500,000	1,500,000	0	0	3,000,000
受取会費	1,500,000	1,500,000	0	0	3,000,000
事業収益	99,930,000	0	0	0	99,930,000
事業収益	99,930,000	0	0	0	99,930,000
受託事業収益	214,569,000	0	0	0	214,569,000
地方公共団体受託収益	214,569,000	0	0	0	214,569,000
受取補助金等	113,078,978	5,454,000	0	0	118,532,978
地方公共団体受取補助金	78,718,000	5,454,000	0	0	84,172,000
受取補助金等振替額	34,360,978	0	0	0	34,360,978
雑収益	11,415,000	0	47,000	0	11,368,000
雑収益	11,415,000	0	47,000	0	11,368,000
経常収益計	442,144,978	8,605,000	47,000	0	450,702,978
(2) 経常費用					
事業費	444,719,978	0	0	0	444,719,978
役員報酬	2,850,000	0	0	0	2,850,000
給料	76,446,000	0	0	0	76,446,000
職員手当	37,280,000	0	0	0	37,280,000
社会保険料	19,040,000	0	0	0	19,040,000
福利厚生費	315,000	0	0	0	315,000
退職共済金	5,472,000	0	0	0	5,472,000
諸謝金	1,120,000	0	0	0	1,120,000
旅費	4,208,000	0	0	0	4,208,000
消耗品費	13,676,000	0	0	0	13,676,000
燃料費	419,000	0	0	0	419,000
飲食費	1,195,000	0	0	0	1,195,000
印刷製本費	4,358,000	0	0	0	4,358,000
光熱水費	88,986,000	0	0	0	88,986,000
修繕費	9,397,000	0	0	0	9,397,000
使用料及び賃借料	2,490,000	0	0	0	2,490,000
支払負担金	6,609,000	0	0	0	6,609,000
通信運搬費	4,426,000	0	0	0	4,426,000
手数料	2,589,000	0	0	0	2,589,000
保険料	496,000	0	0	0	496,000
広告料	1,334,000	0	0	0	1,334,000
委託費	109,980,000	0	0	0	109,980,000
租税公課	12,013,000	0	0	0	12,013,000
消耗備品費	0	0	0	0	0
交金	39,350,000	0	0	0	39,350,000
減価償却費	670,978	0	0	0	670,978
管理費	0	8,734,647	47,000	0	8,687,647
役員報酬	0	3,212,000	0	0	3,212,000
給料	0	1,527,000	0	0	1,527,000
職員手当	0	894,000	0	0	894,000
社会保険料	0	864,000	0	0	864,000
福利厚生費	0	14,000	0	0	14,000
退職共済金	0	120,000	0	0	120,000
旅費	0	87,000	0	0	87,000
消耗品費	0	341,000	0	0	341,000

(2) 公益財団法人 とっとりコンベンションビューロー

科 目	公益目的事業会計		法人会計	内部取引等消去	合 計
	コンベンション 振興事業				
燃 料 費	0	14,000	0	0	14,000
飲 食 費	0	69,000	0	0	69,000
印 刷 製 本 費	0	130,000	0	0	130,000
光 熱 水 費	0	34,000	26,000	0	8,000
修 繕 費	0	30,000	0	0	30,000
使用料及び賃借料	0	417,000	0	0	417,000
支 払 負 担 金	0	285,000	0	0	285,000
通 信 運 搬 費	0	147,000	21,000	0	126,000
手 数 料	0	205,000	0	0	205,000
保 険 料	0	94,000	0	0	94,000
租 税 公 課	0	51,000	0	0	51,000
雑 費	0	70,000	0	0	70,000
減 価 償 却 費	0	129,647	0	0	129,647
経常費用計	444,719,978	8,734,647	47,000	0	453,407,625
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	0	△ 2,704,647
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	0	△ 2,704,647
2. 経常外増減の部					
〔1〕経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
〔2〕経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	0	△ 2,704,647
他会計振替額	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 2,575,000	△ 129,647	0	0	△ 2,704,647
一般正味財産期首残高	8,403,177	4,393,061	0	0	12,796,238
一般正味財産期末残高	5,828,177	4,263,414	0	0	10,091,591
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
基本財産運用益	558,000	558,000	0	0	1,116,000
基本財産受取利息	558,000	558,000	0	0	1,116,000
一般正味財産への振替額	33,802,978	△ 558,000	0	0	33,244,978
一般財産へ振替	33,802,978	△ 558,000	0	0	33,244,978
当期指定正味財産増減額	34,360,978	0	0	0	34,360,978
指定正味財産期首残高	546,063,049	486,071,000	0	0	1,032,134,049
指定正味財産期末残高	580,424,027	486,071,000	0	0	1,066,495,027
Ⅲ 正味財産期末残高	586,252,204	490,334,414	0	0	1,076,586,618